

③⑧ 御台場御取建之図

(^{かい}嘉永 6 年 (1853) 6 月以降カ)

原本：縦 27.0cm×横 40.0 cm

ペリーの来航後、海防強化への切迫感が高まる中、幕府は江戸湾の巡視を行って御台場の築造を決定しました。台場築造計画は、品川沖に 11 基の御台場を築造しようとするものでした。

嘉永 6 年 8 月から工事がはじまり、第一・第二・第三台場は翌 7 年 7 月に、第五・第六台場、陸^{ごてんやました}続きの御殿山下台場は 12 月に竣工しました。第四・第七台場は築造に着手したものの途中で中止となり、第八台場以降は未着手のままでした。

築造当初は、川越藩（第一台場）、会津藩（第二）、忍藩（第三）、鳥取藩（御殿山下）、庄内藩（第五）、松代藩^{まつしろ}（第六）が警備を担当し、その後入れ替わりながら警備が続けられました。

安中市安中 石井忠樹家文書 P01102・No.18-1

